

令和5年度「青森市荒川市民センター」に係る事業報告書等評価結果

青森市荒川市民センターについては、青森市荒川市民センター管理運営協議会が指定管理者として施設の管理運営を行っています。

令和5年度の事業報告書等に基づき、指定管理者による施設の管理運営状況について確認、検証し、下記のとおり評価しました。

評価実施日 令和6年7月24日

施設名	青森市荒川市民センター
設置目的	住民のふれあいと連帯感あふれる地域社会づくりを推進し、併せて地域文化活動の振興、生涯学習の充実、健康の増進等を図り、もって豊かな市民生活の形成に資するため設置しています。
所在地	青森市大字荒川字柴田129番地1
指定管理者	【名称】青森市荒川市民センター管理運営協議会 【代表者】会長 落合 茂 【住所】青森市大字荒川字柴田129番地1
指定期間	令和5年4月1日 から 令和10年3月31日 まで（5年間）

評価項目	検証結果	評価結果	
		適正	要改善
管理について	<ul style="list-style-type: none"> ・業務員のローテーション勤務により適正な人員配置がなされている。 ・内部研修は年5回行って貸館業務等に関して情報共有を行っているほか、外部研修として、各地区センターの職員が集う担当者会議に参加するなど職員の資質向上に努めている。 ・安全かつ快適な施設となるよう、各種保守点検業務を適切に行っているほか、中央市民センター並びに保守点検業者と連携し、利用者の安全確保に努めている。 ・危機管理マニュアルに基づき、年2回（6・12月）児童室の児童も参加して防災訓練を実施し、緊急時に的確な対応を行うことができるように取組がされている。 ・節電啓発などの貼紙等を掲示するとともに、館内を巡回し不要箇所を消灯するなど、省エネルギーの推進に努めている。 	○	
運営について	<ul style="list-style-type: none"> ・貸館業務については、利用希望の多い多目的ホールの使用申請に際して月末に抽選会を実施しているほか、規則等に従って利用者の平等利用に努めている。 ・事業実施の都度、利用者アンケートを実施し、ニーズの把握に努め、次期事業の企画立案の参考にしているほか、館内に意見箱を設置している。 ・令和5年度利用者は51,925人であった。 	○	
事業実施結果について	<ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度は、「アタマとカラダを使って遊ぼう！～キッズシナプソロジー®教室～」 「リバイバルミュージックでフィットネス！～エアロ&ストレッチ～」 「ママ&ベビー・キッズフィットネス～親子で楽しく運動しよう！～」 「知って！使おう！はじめてのスマホ講座」など95回の講座を行い延べ958人が受講しており、幅広い年齢層に応じた事業展開が行われている。 ・自主事業である「荒川まつり」を行い、延べ1,583人が参加した。 	○	
収支決算書について	<ul style="list-style-type: none"> ・提出された収支決算書に対し、会計帳簿や預金通帳等を確認した結果、経理は適切に行われており、適正であった。 	○	

【総合評価】

- 管理運営状況や主催事業の実施状況、収支決算等については、いずれも適正である。
- アンケートの実施等により、幅広い世代を対象としたニーズの高い講座や地域カアップ講座など、各種事業を工夫して実施している。
- 今後とも地域コミュニティ活動や地域文化活動、生涯学習活動を推進していただきたい。

【改善が必要な項目についての指導等及び改善策】

【担当課】 青森市教育委員会事務局中央市民センター
【電 話】 017-734-0163
【メー ル】 chuo-center@city.aomori.aomori.jp